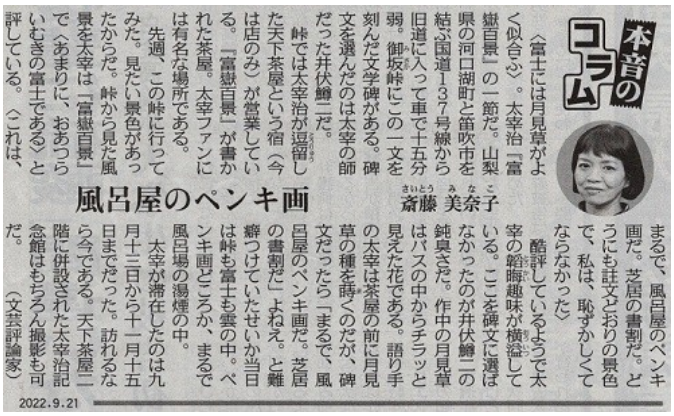
備忘録ないしは切り抜き帳(その214)

[2022年9月21日(水)]

○今朝の産経新聞主張『台風14号 事前放流の効用に学ぼう』を以下に転載させて頂きたい.「大型で猛烈な台風14号は鹿児島県に上陸し,列島をほぼ縦断して各地に大雨と強風被害の爪痕を残した. 上陸直前には中心気圧910hPaを記録し,気象庁の黒良龍太予報課長が「本でしか読んだことがないような,記録的な台風」と評した14号は,西日本を中心に記録的な大雨を降らせた. だが「記録的な大災害」は避けることができた.その要因の一つにダムの「事前放流」の効用が挙げられる. 国土交通省によると,大雨に備えてあらかじめ放流し,ダムの貯水位を下げて容量を確保しておく「事前放流」を, 19日正午までに19府県の123ダムで実施した. 事前放流を本格的に導入した令和2年以降, 1つの台風への対応としての最多を大幅に更新した. これほど大規模な事前放流がなければ, 大雨による水量をダムにためられず, 下流域に集中して河川の氾濫による甚大な被害が生じた可能性がある. ダムはもともと水道水は厚生労働省,工業用水は経済産業省,農業用水は農林水産省と用途ごとに所管が違う. そうした縦割り行政の弊害を排し, 治水のための事前放流を一元的に判断できるよう, 当時の菅義偉官房長官が主導して国交省でガイドラインを定めた. きっかけは, 深刻な洪水被害があった元年の台風19号で,試験運用中の八ツ場ダム(群馬県長野原町)が7500万㎥の雨水をため,下流域の氾濫を防いだことだった. ガイドラインによれば、予報確率が高い大雨の3日前から事前放流を判断できる. 台風14号は列島の広範囲に大雨を降らすことが確実視されたためこれだけ大規模な事前放流が実施された.」

水位が上昇した八ッ場ダム＝令和元年 10 月 14 日，群馬県長野原町（産経新聞社ヘリから撮影）

○今朝の東京新聞に掲載された斎藤美奈子氏のコラム『風呂屋のペンキ画』を右に転載させて頂く. 太宰治が峠の茶屋で言ったとされる「これは, まるで, 風呂屋のペンキ画だ. 芝居の書割だ. どうにも註文どおりの景色で, 私は恥ずかしくてならなかった」がいかにも可笑しい.



本音のコラム

風呂屋のペンキ画

斎藤 美奈子

〈富士には月見草がよく似合ふ〉。太宰治「富嶽百景」の一節だ。山梨県の河口湖町と笛吹市を結ぶ国道137号線から旧道に入って車で十五分弱。御坂峠にこの一文を刻んだ文学碑がある。碑文を選んだのは太宰の師だった井伏鱒二だ。

峠では太宰治が逗留した天下茶屋という宿(今は店のみ)が営業している。「富嶽百景」が書かれた茶屋。太宰ファンには有名な場所である。

先週、この峠に行ってみた。見たい景色があったからだ。峠から見た風景を太宰は「富嶽百景」で〈あまりに、おあつらいむきの富士である〉と評している。〈これは、酷評しているようで太宰の韜晦趣味が横溢している。ここを碑文に選ばなかったのが井伏鱒二の鈍臭さだ。作中の月見草はバスの中からチラッと見えた花である。語り手の太宰は茶屋の前に月見草の種を蒔くのだが、碑文だったら「まるで、風呂屋のペンキ画だ。芝居の書割だ」よねえ。と難癖つけていたせいか当日は峠も富士も雲の中。ペンキ画どころか、まるで風呂場の湯煙の中。

太宰が滞在したのは九月十三日から十一月十五日までだった。訪れるなら今である。天下茶屋二階に併設された太宰治記念館はもちろん撮影も可だ。〈文芸評論家〉

まるで、風呂屋のペンキ画だ。芝居の書割だ。どうにも註文どおりの景色で、私は、恥ずかしくてならなかった〉

2022.9.21

[2022年9月22日(木)]

○今朝の東京新聞社説『内閣支持率急落 国民の声が聞こえぬか』を以下に転載させて頂く.「岸田内閣の支持率が急落している. 故安倍晋三元首相の国葬や自民党と旧統一教会との関係, 物価高などを巡る政権不信が主な要因だ. 岸田文雄首相には国民の切実な声が聞こえているのか. 共同通信の最新世論調査で内閣支持率は40.2%と8月の前回比13.9ポイント減. 国葬に「反対」「どちらかといえば反対」は,合わせて60.8%を占めた. 党所属議員と旧統一教会との接点を公表した自民党の対応が「十分ではない」は80.1%.物価高への対応を「評価しない」も70.5%に上る. 国葬について首相は国会の閉会中審査で説明したが,従来の見解を繰り返すにとどまり, 逆に反対意見が強まった. 国民の声を真摯に受け止め, 内閣葬や内閣・自民党合同葬に切り替えるなど, 実施形式を見直すべきではないか. 教団との関係では調査結果公表後, 山際大志郎経済再生担当相らに接点が相次いで判明した. 自己申告による調査の限界は明らかだ. 教団との深い関わりが指摘される安倍氏や細田博之衆院議長の調査もしなければ, 関係断絶の決意を疑われて当然だろう. 7月の参院選で,有権者の関心が最も高かったのは物価高対策だが,選挙後に政府が新たに決めたのは困窮世帯への5万円給付などにとどまる. 8月の全国消費者物価指数は前年同月比2.8%上昇したにもかかわらず,政府の総合経済対策策定は10月だという. しかも, 野党が8月中旬,山積する課題を議論するため, 臨時国会の召集を憲法53条に基づいて要求したのに, 政府は1ヵ月以上要求に応じず, 召集予定は10月3日だ. 国会軽視は安倍・菅政権と何ら変わらない. 首相は「世論調査結果に一喜一憂しない. 国民の声には丁寧に耳を傾けていかなければならない」と語った. 多くの国民が首相の言葉に不信感を抱くからこそ支持率が低下したのではないか. 一憂

くらいはすべきだろう．国民の切実な声を受け止め，時には反対意見にも耳を傾ける．そうした誠実な姿勢を政治に取り戻すしか，信頼回復の道はない.」

○今朝の朝日新聞社説『西九州新幹線 開業を素直に喜べない』を以下に転載させて頂く.「西九州新幹線が開業した．計画から半世紀を経た門出だが，残念ながら手放しでは喜べない．時間短縮は限られ巨費に見合う効果の見通しがないからだ．整備新幹線の抱える問題があらわになっている．開業したのは武雄温泉―長崎間の66㎞．念願がかなった長崎県を中心に歓迎の声があがる．だが，約6200億円を投じたものの，博多から長崎への移動時間は最速1時間20分で,約30分の短縮にとどまる．驚くのが建設にあたった鉄道建設・運輸施設整備支援機構自体が，かけた費用の半分しか便益が得られないと評価していることだ．効果が費用を上回るのを要件とする整備新幹線のルールからしても，着工すべきではなかったことになる．当初は武雄温泉までの在来線とその先の新幹線を通して走れる新型車両を運行する計画だった．だが車両開発に失敗して乗り換えが必要になり，投資効果も大幅に下がった．本来なら，この経緯を教訓に「新幹線ありき」の発想を見直すべきだろう．だが国土交通省に反省の色はみえない．それどころか新鳥栖―武雄温泉間の約50㎞をフル規格の新幹線で早期に延伸する構えだ．地元の佐賀県は新型車両導入を前提にした当初の計画には同意していたが，この延伸には難色を示す．時間短縮の恩恵は乏しいうえに，並行在来線が不便になる恐れがあるからだ．懸念を抱くのが当然だろう．そうした事情を顧みず「途中まで造ったのだから，つなげなければ損だ」といって延伸を押し通そうというのでは開いた口が塞がらない．高速鉄道網ではリニア中央新幹線の建設も静岡県の同意が得られず暗礁に乗り上げている．共通するのは建設に前のめりな声ばかりを重視し，公共事業を上意下達で進める手法の限界である．2023年度末開業予定の北陸新幹線の金沢―敦賀間も工事費高騰で費用が効果を上回った．それでも国交省は敦賀以西の整備を進めようとしている．自民党内には凍結状態にある山陰や四国の新幹線建設の復活を目指す動きすらある．こうした計画がたてられたのは高度成長末期の1973年だ．右肩上がりの成長や人口増は終わり，北海道や四国を中心に赤字ローカル線は存続の危機にある．社会の環境保護への意識も高まった．求められるのは拡大から維持に交通政策の軸足を移すことだ．道路や空路を含めた幅広い視点で交通網を再構築する必要がある．財源を新幹線ばかりに注ぎ続ける余裕はない.」

開業した西九州新幹線．行き先表示は「博多」だが，途中駅で在来線特急に乗り換える必要がある=2022 年 9 月 23 日午前 5 時 16 分,JR 長崎駅

[2022年9月24日(土)]

○今朝の東京新聞社説『資産所得倍増 将来不安払拭が先決だ』も以下に転載させて頂きたい.「岸田文雄首相が掲げる「資産所得倍増プラン」の主軸となる少額投資非課税制度(NISA)の拡充策を金融庁がまとめ，年末の2023年度税制改正に向けて具体化の検討が始まった．ただ，首相が就任当初唱えていた「所得」倍増から突然「資産所得」に変わった経緯もある．政府の掛け声に乗り老後への備えなど「虎の子」の貯蓄を市場に吸い取られることに終わっては元も子もない．入念な議論が必要だ．首相は5月,日本の家計資産約2000兆円の過半を占める貯蓄を念頭に「眠りからたたき起こして市場活性化の仕事をしてもらう」と発言．この「貯蓄から投資」の表明を受け政府は6月閣議決定の「新しい資本主義」実行計画に資産所得倍増を盛り込んだ．NISA拡充策は投資信託や株式への個人投資を対象とする非課税制度の恒久化や上限額の引き上げで投資層を「全世代的に」拡大．家計の所得増,消費拡大による経済全体の活性化が狙いだ．しかし,そもそも家計資産が貯蓄に偏るのは，年金不信や賃金が上がらないことへの将来不安が要因だ．この不安を払拭せず家計にだけ先行して自己責任を伴う投資へ誘導するのは，政治の無責任と言わざるを得ない．ましてや「全世代」を巻き込むなら，貯蓄も少なく投資余力のない働く現役世代の家計を潤すための持続的な賃上げが政策で保障されなければなるまい．ここ10年来，場当たり的な経済政策の下で企業経営は先が読めずに萎縮し，日本企業がため込んだ内部留保の累計は500兆円を超えた．この消極姿勢から転じ,企業が安心して賃上げや設備投資に踏み出すための道しるべとなる中長期の成長戦略が不可欠だ．それも既存政策の焼き直しではなく，新たな成長の起点として日本経済の不安を解消する構造改革こそが企業への有力な動機付けとなるのではないか.「貯蓄から投資」を国家戦略として取り組むなら急ぐ必要はない．社会保障の充実や格差是正,金融教育などの視点とともに，経済構造改革についての議論をじっくり深める契機としたい．そうした手順を踏まず投資余力のある富裕層をあてにしてNISA拡充を急いでも，格差を一層広げるだけの「金持ち優遇策」との批判は免れまい.」

[2022年9月25日(日)]

○今夕18時39分に東京新聞が配信した記事『安倍元首相国葬「反対」各世論調査で軒並み増加 9月は全ての媒体で過半数に』を以下に転載させて頂く.「安倍晋三元首相の国葬が27日,東京北の丸公園の日本武道館で営まれる. 岸田文雄首相の判断で実施を閣議決定してから2ヵ月余りが経過する中,賛否をめぐる論争は拡大. 各報道機関が実施した9月の世論調査では,7月末や8月の前回と比べていずれも反対の割合が増えている. 本紙が調べた大手5紙と2通信社,NHKなど計8つの媒体でみると,全ての媒体で反対が半数を超えた. 最も反対の割合が増えたのは日経新聞とテレビ東京の合同調査(9月16〜18日)で, 7月末の47%から13ポイント増の60%だった. 首相は今月8日,衆参両院の議院運営委員会の閉会中審査に自ら出席した. 世論の批判を踏まえ国葬を実施する理由を説明するのが目的だったが, 従来の説明を繰り返しただけで「多くの国民はなぜ国葬なのか疑問を抱いているが, 納得のいく答えは得られなかった」(立憲民主党の泉代表)と批判された. NHKが翌9〜11日に行った調査の中で「政府の説明は十分と思うか」との設問では「不十分」が72.0%に上り「十分」はわずか15.1%だった. 国葬に自衛隊から儀仗隊を派遣する浜田靖一防衛相も「説明が足りていない」と苦言を呈した. 8媒体のうち読売新聞を除く7媒体は9月の世論調査は閉会中審査後に行った.(署名記事)」

各世論調査での国葬反対の割合

	前回調査 7月末もしくは8月	9月調査 前回との差 Pはポイント
読売新聞	46%	56% 10P増
NHK	50%	56.7% 6.7P増
朝日新聞	50%	56% 6P増
時事通信	47.3%	51.9% 4.6P増
日経新聞・テレビ東京	47%	60% 13P増
共同通信	53.3%	60.8% 7.5P増
毎日新聞・社会調査研究センター	53%	62% 9P増
産経新聞・FNN	51.1%	62.3% 11.2P増

※NHKと読売新聞の設問は、国葬実施を決めた政府の判断への評価。共同通信は「どちらかといえば反対」を含む

[2022年9月27日(火)]

○今朝の朝日新聞天声人語『コスモスを眺めつつ』を転載させて頂く.「コスモスといえば,秋に色彩を添えてくれる花だが, 宇宙を指す言葉でもある. どちらも「秩序」「調和」を意味するギリシャ語がもとになっている. 花のコスモスは整然と並ぶ花びらの美しさからその名がついたという. ▼花びらだけでなく野原いちめんに群生する様子にもどこか調和を感じることがある.〈秋桜見てをり吾も揺れてをり〉茂木房子. 草花のなか,あるいは木々のなかにいて,自分がその一部になったかのように思えるのは幸せな瞬間である. ▼宇宙をコスモスと呼んだ, 古代ギリシャの哲学者ピタゴラスだという. この宇宙には秩序があり, 調和が取れていると考えたためだ. ちなみに反対語はカオスすなわち混沌である. ▼さて人間はコスモスではなくカオスを自然にもたらしているようだ. 最近よく聞く「人新世(ひとしんせい)」という言葉は人間が自然を大きくつくりかえているさまを表現している. 自然界で分解されないプラスチックが生態系を壊し, 温室効果ガスが海水面を上昇させる. ▼17世紀の思想家パスカルが人間のことを「考える葦である」と述べたのは, 自然のなかで最も弱い植物のような存在だというのが前提になっている. しかし人類が環境破壊の暴力を振るっている以上,「葦」は身分の詐称かもしれない.「考える」ほうはどうか. ▼自然からはみ出してしまった人間ではあるが, それでも人間をやめることはできない. 調和するにはどうすればいいか, 自分に何ができるのか, 考え続けるしかない.」

○東京新聞筆洗の『ヒガンバナを眺めつつ(仮題)』も以下に転載させて頂く.「お彼岸は過ぎたが,ヒガンバナは今が見ごろか. 各地から開花のニュースが届く. ▼〈曼珠沙華どれも腹出し秩父の子〉金子兜太. ヒガンバナを背景におなかを出して遊ぶ子どもたちの元気な姿が懐かしい. ▼子どものころにヒガンバナに近づくなと教えられた人もいるか. 球根に毒があるせいだろう.「死人花」「地獄花」「幽霊花」 もちろん「曼珠沙華」というありがたい梵語の名もあるが, おそろしい呼び名をたくさんもらっている. 物騒な名でいたずらしないよう子どもに教えていたのかもしれぬ. ▼人が植えなければ生えることはないので, ヒガンバナはその周囲にかつて人が住んでいたことを物語る目印になるそうだ. 大昔に誰かが植え今も咲いているーと思えば, 赤い花が急にありがたく見えてくる. そういえば飢饉の際には毒を抜いて食べたとも伝わる. ▼人が植えなければと書いたが, 米国のヒガンバナ第一号は誰が植えたか. ペリーと共に黒船で日本に来たノースカロライナ州出身の海軍の人らしい. 花好きの妻のために三つの球根を日本から持ち帰った. 球根は干からびていたが, 植えるとちゃんと花を咲かせたそうだ. ▼米国では「復活(Resurrection)リリー」の別名があると聞く. 葉が落ち,だめになったように見えながらも,立派に花を咲かせるところから付いた. こっちの名はこわくない.」

[2022年9月28日(水)]

○今朝の朝日新聞社説『安倍氏「国葬」 分断深めた首相の独断』を以下に転載させて頂く.「本来なら選挙中に凶弾に倒れた元首相を静かに追悼する場とすべきところを, 最後まで賛否両論が渦巻く中で挙行した. 社会の分断を深め, この国の民主主義に禍根を残したというほかない. 異例の「国葬」を決断した岸田首相の責任は厳しく問われ続けねばならない. 国内外から4000人以上が参列して, 安倍元首相の国葬が営まれた.

一般向けの献花台には早朝から多くの人が列をつくった．一方,反対する集会やデモ行進も各地で行われた．首相経験者の葬儀は内閣と自民党の合同葬が定着しており,約5年の長期政権を担った中曽根元首相もそうだった．同じ形式だったら世論の反発はここまで強くなかったかもしれないが，首相は法的根拠があいまいで戦後は吉田茂の１例しかない国葬を選んだ．戦前の「国葬令」では「国家に偉勲ある者」が天皇の思し召しである「特旨」によって国葬の対象となった．天皇主権から国民主権に代わった戦後の民主主義の下で国葬を行おうというのに，国民の代表である国会の理解を得る努力なしに首相は国葬を独断した．安倍氏が憲政史上最長の8年8ヵ月，首相の座にあったのは事実だが，その業績への賛否は分かれ評価は定まっていない．強引な国会運営や説明責任の軽視，森友・加計・桜を見る会などの「負の遺産」もある．政権基盤の強化に向け安倍氏を支持してきた党内外の保守派へのアピールを狙い，国葬に違和感を持つ世論の存在に思いが至らなかったとすれば，首相による国葬の「私物化」と評されても仕方あるまい．首相は追悼の辞で，安保・外交分野を中心に安倍政権の業績をたたえ，集団的自衛権の一部行使に道を開いた安保法制や特定秘密保護法の制定などを挙げた．しかしこれらは，強い反対論があるなか数の力で押し切って成立させたものだ．国葬が安倍政権に対する評価を定め，自由な論評を封じることがあってはならないことを，改めて確認したい．国葬への反対は時がたつほど強まった．世界平和統一家庭連合(旧統一教会)と自民党政治家との関係が次々と明らかになり，その要として安倍氏の役割に焦点があたったことが影響したに違いない．数々の疑問や懸念を抱えた国民を置き去りにしたまま国葬は行われ社会の分断にとどまらず，国民と政治との溝を広げることになった．その距離を縮め，信頼回復の先頭に立つのは国葬を決めた首相以外にない．週明けに始まる臨時国会への対応が試金石となる．」 TV中継を視聴させて頂いたが，お葬式を２回も行う必要はなく，お別れの会で良かったのではないだろうか．会場も参列者も黒一色で，厳かと云うよりは何かしら陰気な印象で，軍服の赤が際立った先週のエリザベス女王の国葬とは好対照であった．

安倍元首相の「国葬」で追悼の辞を述べる岸田首相=2022年9月27日，東京都千代田区の日本武道館，代表撮影

[2022年9月30日(金)]

○今朝の産経新聞主張『安倍氏の国葬 真心込めて故人を送れた』を以下に転載させて頂く．「安倍晋三元首相の国葬が執り行われた．日本の国として功績のあった故人を真心込めて送ることができて本当に良かった．内外の約4200人が参列した．テレビやインターネットの中継で多くの人々が見守った．国葬の実施を判断し葬儀委員長を務めた岸田文雄首相はじめ準備や進行,警備,海外要人の接遇などに当たったすべての関係者の労苦に感謝したい．岸田首相は弔辞で「歴史はその(在任の)長さよりも達成した事績によってあなたを記憶する」と称え，安倍氏の業績を踏まえ国政を運営する思いを披露した．感動を呼んだのは安倍氏を長く支えた菅義偉前首相による友人代表の弔辞だった．菅氏は暗殺された伊藤博文を偲んだ山県有朋の歌を「私自身の思い」として２度読み上げた．安倍氏の読みかけの本にペンで線を引いてあった歌だった．「かたりあひて 尽しゝ人は先立ちぬ 今より後の世をいかにせむ」式場では日本の葬儀としては異例の拍手がおこったが中継をみていて共感した人は多かったのではないか．言葉の力が故人を見事に送ったのである．国葬は式場の中だけで行われたわけではない．近くの九段坂公園はじめ全国各地で一般向けの献花場が設けられ，多くの人々が足を運んだ．九段坂公園で献花しようとする老若男女の列は4km超に及んだ.全国から集まった約2600人が献花したが，時間切れでかなわなかった人もいた．一般で募られた安倍氏へのデジタル献花は50万人を突破した．日本は国として礼節を尊んだといえるだろう．」

○同じく今朝の東京新聞に掲載されていた北丸雄二氏のコラム『この気持ち悪さの正体』を右に転載させて頂く．先の産経新聞の主張では全く触れられていない，国民の半数以上が感じている国葬への疑問が代弁されている．国葬という行事によって国民を分断させてしまった罪は計り知れない．

本音のコラム

この気持ち悪さの正体

北丸雄二

最初にゴメンナサイと言っておきます。靖国を買うことを書きます。巷間すこぶる評判の良かったらしい国葬での友人代表弔辞を聴いて、ものすごく気持ち悪いと思ったのはなぜなのかと考えているのです▼総理、あなたの判断はいつも正しかった」と呼びかける、事実認識の違いは当然ありますが、秋葉原の演説で対立する国民を「こんな人たち」と敵認定した行、国会で「日教組！」と口を尖らせて野次った故人の姿を憶えているから微妙。でもそこじゃない。弔辞というのはそういうもんだし、こんな式典で「正し」くなかったことを嘆くのは失敬千万▼「何度でも申し上げます。あなたは我が国日本にとっての真のリーダーでした」と呼びかけながら、その実この国を売るカルト献金集団と結びついていた裏をこの友人はどう思っているのかという疑問もある。おまけに山際、林芳大臣、木原官房副長官そして萩生田政調会長らだ！れも更迭されない不思議も。けれどそこでもない。それも弔辞とは別▼じゃあ何なのかと考えて思い当たった…この文体、故人がプーチンに呼びかけた「ウラジーミル、君と僕は同じ未来を見ている」「ゴールまで二人の力で駆けて駆け、駆け抜けようではありませんか」と同じ人が書いたのってくらいの、恋々たる生臭きなポエム臭がしたんだ。だからゴメンナサイ、ムリ…。（ジャーナリスト）

2022.9.30

[2022年10月1日(土)]

○今朝の東京新聞“こちら特報部”の『国葬で「感動的」と称賛された菅義偉前首相の弔辞…冷静に読むとにじむ「弱者切り捨て,身内優遇」』と題する記事を以下に転載させて頂く.「安倍晋三元首相の国葬で友人代表としての弔辞を読み上げた菅義偉前首相. その内容は首相在任中に発信力不足が批判された菅氏にしては話しぶりも含め友人としての思いがこもって感動的だったと評価する声も多いが, 果たして手放しで肯定してよいのか, 気になる点がたくさんある. 感動でごまかされないようもう一度じっくりと菅氏の弔辞を見直してみた.(特別報道部,署名記事) 緊張だろう. 弔辞を入れた包み紙を机に置く手がかすかに震えていた. 日本武道館内の記者席から双眼鏡越しに見た菅義偉前首相の表情は硬く伏し目がち. 静まり返った会場で誰もが菅氏の言葉を待った. **◆詩的で心地よい「まるで恋文」** 「7月の,8日でした」聞き慣れた菅氏らしい少し抑揚のない声が波のようにひたひたと会場に広がった. 安倍元首相が亡くなった衝撃のあの日に一気に引き戻されていく. どんな時も「総理」と呼んでいた安倍氏を「あなた」と呼び「セミ」といった夏の季語から「高い空」「秋の雲」へと季節の移ろいを表現した文章. 予定調和な国会答弁と違い詩的で心地よく感じた. 約12分間の弔辞は絶賛された. 菅氏に近い自民党の三原じゅん子参院議員は, すかさずツイッターを更新し「まるで恋文」と表現. 国民民主党の玉木雄一郎代表も「感動しました. あの挨拶で国葬儀に対する印象が変わった人もいるのではないでしょうか」と持ち上げた. 近現代日本政治史に詳しい御厨貴東大名誉教授は国葬当日夜のテレビ番組で, 菅氏の弔辞の後自然に拍手が湧き起こったことに触れ「引き込まれた」と称揚した. だが国葬当日の高揚から日を置いて, あらためて文字になったこの弔辞を読むと, ひっかかるところが随所にある. 例えば, 読み上げ開始後40秒で飛び出した「あなたならではの,あたたかな,ほほえみに,最後の一瞬,接することができました」という部分. 奇跡のような話で確かに感動的だが, 弔辞によると菅氏は安倍氏銃撃の知らせを受け現場の奈良にすぐに駆けつけたという. 病室の安倍氏は心肺停止状態のはずだ. その状態でほほえむことはありうるのか. 医師の木村知氏は「菅氏が到着した時,安倍氏がどういう状態だったか詳細は不明だが,その状況で表情筋が感情で動くことは,医学的見地からは極めて考えにくい」と話す. ただ, 否定もしない.「安倍氏のお友達である菅氏にはきっとそう見えたのでしょう」 **◆「よりにもよって」他の人ならよかったの?** 再び弔辞に戻ると,菅氏は「天はなぜ, よりにもよって, このような悲劇を現実にし, いのちを失ってはならない人から, 生命を, 召し上げてしまったのか」と続けている. 木村氏は「『よりにもよって』を漢字で書くと『選りにも選って』 この言葉に,選ぶならほかにもっと適当な人がいるのにとの意を感じる」と述べる.「よりにもよって」との修飾語は「いのちを失ってはならない人から」にかかる. とすれば「この一文で,他に選ばれるべきだった者,すなわち死んでもかまわない人の存在を認めている.まさに優生思想の考え方そのものだ」と批判する.「安倍政権は生産性の有無で人の価値を決め,弱い立場の人を切り捨てる一方,森友・加計学園問題のように身内を優遇する選別政治を行ってきた. この一文を見て, ああ,やっぱりと思う人がいても不思議ではない.『いのちを失ってはならない人』ではなく,単純に『私の大切な友人』にすれば,何の問題も違和感もなかったのに」

安倍晋三元首相の国葬で追悼の辞を述べた菅義偉前首相(代表撮影)

◆事前に作成したのに「たくさん若者」確認は? 菅氏の弔辞は「武道館の周りには, 花をささげよう, 国葬儀に立ちあおうと, たくさんの人が集まってくれています. 20代, 30代の人たちが少なくないようです」と続く. 文面は前もって作ったはずで, 菅氏は献花の参列者に若者が多いと確認してアドリブを入れたのかと疑問がわく. ともあれ, この「若者のための安倍さん」アピールに不自然さを感じる人もいる.「SEALDs(自由と民主主義のための学生緊急行動,シールズ)」元メンバーの是恒香琳さん(31)は「現実が見えていないのでは」とにべもない.「献花に訪れた若者もいたとは思いますが,私の周囲は仕事に忙しかったり台風被害があった静岡にボランティアに行く準備で『国葬どころじゃない』と冷めている人は少なくなかった」 是恒さんは, 安倍政権は就職率の高さを誇り,若者や女性の味方であるかのようなアピールが目立ったと言う.「実際は非正規雇用が多く,課題も多かった. 政策の中身はおざなりなのに『若者の支持が多い』と政治利用したのが安倍政権だったのではないか. 何より選挙の投票率の低さが, 政治に失望している若者の多さを表している」 菅氏は弔辞で安倍政権の「成果」も並べた. まず挙げたのが環太平洋連携協定(TPP). 他国との交渉に時間をかけるべきだという菅氏に対し,安倍氏は「やるなら早いほうがいい」と考えていたという. 菅氏は「どちらが正しかったかは,もはや歴史が証明済みです」と絶賛した. ただ, TPPは2016年に日本を含め12ヵ国が署名したが, 2017年に米国が離脱. 残り11ヵ国で合意し2018年に発効したものの, 多くの市民が

道路の反対側から一般献花台をスマホで撮る人たち

恩恵を実感したとは言い難い．東大大学院の鈴木宣弘教授(農業経済学)は「安倍政権は米国の意向に沿って必死にTPP交渉参加を急いだが，トランプ米大統領が離脱を表明してはしごを外された．米国離脱後の他国との交渉は，日本企業に有利な条項が凍結されるなどした一方，農産物の輸入枠は拡大されて国益を損なう点もあった」と指摘．国内農業への悪影響の検証もないままで，「TPPを正しかったと断じるのは，理解に苦しむ」と批判する．**◆特定秘密保護法も安保法も「正しい判断」**　弔辞のハイライトで飛び出したのは「総理，あなたの判断はいつも正しかった」との言葉．特定秘密保護法，平和安全法制，改正組織犯罪処罰法を挙げ，「難しかった法案を，すべて成立させることができました」　だが，いずれも国会審議中は国論を二分するような反対運動が起き，「自民1強」で採決が強行された法律ばかりだ．それを忘れたかのような賛美一色の弔辞に，評論家の佐高信氏は「自分たちだけが正しいというような独善的な考え，狭さを感じた」と語る．佐高氏が特に見過ごせなかったのは弔辞のクライマックス．菅氏が，安倍氏が読みかけだったという山県有朋を取り上げた本に触れたことだ．「山県有朋と言えば藩閥政治，言論弾圧の象徴だ」．山県の死去時，雑誌記者だった石橋湛山はコラムで「死もまた社会奉仕」と痛烈に批判した．佐高氏は「強権政治の親玉のような山県を持ち出すとはおめでたい弔辞だ．自民で首相も務めた石橋が批判した逸話を知らなかったのか」と皮肉る．駒沢大の山崎望教授(政治理論)は「自民の身内として，菅氏が情感に訴える表現で安倍氏を悼むことは理解できる．だが国葬の弔辞で，安倍政権や政策を賛美するのは危うい．政権の全てを正当化し，異論や反対論を封じることにつながるからだ」とし，こう警鐘を鳴らす．「安倍氏の死を悲しむことと政権や政策への評価は本来全く別のはず．それが今回の弔辞では一体化し，まさに政治利用と言わざるを得ない」　**◆デスクメモ**　頑張る選手の姿には誰もが感動したが，その裏側に汚職が広がっていた東京五輪．目を赤くして弔辞を読む菅氏の姿と声も，確かに感動的かもしれないが，冷静に読み返してみれば，これだけのひっかかりがある．感動で，安倍氏にまつわる負の記憶を上書きされるわけにはいかない．(署名記事)」

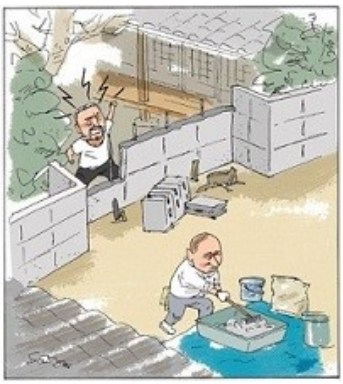
2015年9月，安保関連法案に反対し国会前で声を上げる SEALDs の若者たち

[2022年10月2日(日)]

〇今朝の朝日新聞社説『ロシアの「併合」　許されぬ民意の捏造だ』を以下に転載させて頂きたい．「捏造された「民意」をたてに大国が隣の国の領土を力ずくでもぎとる．もはや茶番を通り越して国際秩序の破壊行為というべき蛮行だ．ロシアのプーチン大統領が，軍で占領を進めてきたウクライナ東部と南部の4州を自国領に併合すると一方的に宣言した．根拠とするのが4州で87～99%が併合に賛成したとされる「住民投票」だ．プーチン氏は演説で「人びとの選択は行われた」と述べ，国連憲章が掲げる「自決の原則」まで持ち出して正当化した．多くの住民が戦火を逃れたり迫害の恐怖におびえたりする中での投票結果のどこが民意の証しなのか．現地からは係員が重武装した兵士と各戸を回って票を回収したとも伝えられた．グテーレス国連事務総長が「国連の目的と原則への侮辱」と形容した通りの事態だ．4州の併合は東部2州の住民を「集団殺害から守る」と根拠なく強弁した侵攻当初のロシアの立場とも矛盾する．プーチン氏は演説で，米国など西側が力でロシアに価値観を押しつけ，弱体化させようとしているなどと対抗心もむき出しにした．その言動はウクライナを破壊し，住民の命を奪い 隷属国家に作り替えようとしている自分自身にはねかえるものと悟るべきだ．ロシアの偉大さを説きながら逆に国際信用を損ね，隣国をさらに西側に追いやる．自国に負の歴史を刻印したプーチン氏の責任は重い．なりふり構わぬ強硬姿勢は弱みと焦りの裏返しでもある．ウクライナ東部で大敗走を喫するなど守勢に立たされている．戦場を自国領とみなして核使用をちらつかせ，欧米にウクライナへの軍事支援をためらわせる狙いがあるのだろう．加えて8年前のクリミア併合を再現して，愛国心発揚も期待しているならば，目算は外れたというべきだ．兵力不足を補う予備役の部分動員は国内に大きな混乱と不安を広げ，支持率は開戦後初めて下落に転じた．国際規範へのこれほどまでの冒涜を放置すれば，力が支配する弱肉強食の時代に戻りかねない．にもかかわらず併合宣言を受けて開かれた国連安全保障理事会は，ロシア非難の決議案を採択できなかった．ロシアの拒否権行使は想定内として，採決で中国やインドが棄権したのは理解に苦しむ．主権の一体性は両国にとっても現実的な問題だからだ．「法の支配」で国際秩序を守り抜く．その明確な意思で結束しプーチン政権の暴走を食い止める．日本を含む各国はその総力を挙げてほしい。」

プーチン・ロシア大統領がウクライナ 4 州の「併合」を一方的に宣言した 2022 年 9 月 30 日，モスクワの赤の広場ではプーチン氏を支持するコンサートが開かれた =AFP 時事

○今朝の産経新聞主張『露の併合宣言 世界秩序の破壊を止めよ』も以下に転載させて頂く．「どれだけのウクライナ国民を殺戮し生活を破壊した結果なのか．ロシアのプーチン大統領がしていることは断じて許されない．プーチン氏は,ウクライナ東部のドネツク州,ルガンスク州,南部のヘルソン州,ザポロジエ州を併合すると9月30日に発表した．ウクライナ領の約15%にあたり第二次大戦後の欧州で最大の領土奪取である．プーチン氏は,4州で行われた「住民投票」を併合の根拠とした．ロシア編入への賛成票が圧倒的多数だったという代物である．むろん認められない．武力によって占領されている地域で，人々に銃を突き付けるも同然に行われた投票だ．戦火を逃れてロシア以外に避難した住民には投票権がなかった．茶番と呼ばずして何と呼ぶのか．ロシアの行動には何ら法的効力がなく，ウクライナ国境は一寸たりとも変わっていない．ウクライナには領土を解放し国境管理を回復する当然の権利がある．日米や欧州連合(EU)などがロシアを非難し，併合を認めないと表明したのは当然だ．岸田文雄首相はゼレンスキー・ウクライナ大統領との電話会談で「G7で緊密に連携し,さらなる対露制裁を検討する」と強調した．2014年のクリミア併合で,米欧や日本は極めて限定的な対露制裁しか発動しなかった．甘い対応がプーチン氏を増長させ，今日の事態につながったことは否めない．同じ轍を踏んではならず，強力な行動が求められていることを銘記すべきである．ウクライナの領土奪還を支援するのはもちろん，ロシア産の石油や天然ガスの取引にできるだけ制限をかけロシアの戦費を減らしたい．国際機関からのロシア排除も進めるべきだ．国際社会が知恵を絞らなくてはいけない．拙速な4州併合は,戦況が思わしくないことによる焦りの反映でもある．プーチン政権が核兵器使用の暴挙に出ないよう抑止しつつ，ロシアをさらに追い詰めていくことが肝要だ．ロシアを明確に懲罰できなければ国際秩序は崩壊し，世界は混沌を極める．中国をはじめ武力を奉じる国々が，平然と侵略行為を働くことになるだろう．これを許さないために今，全力を尽くさなくてはならない．」



○東京新聞には例によって,佐藤正明氏の風刺漫画『欲深き 隣は何をする人ぞ』が掲載されていたので，右に転載させていただきたい．今回の朝日新聞社説と産経新聞主張は一見して似ているようにも思えるが，よく読むと両社の違いが随所に表れていることに気づかされる．

[2022年10月4日(火)]

○今朝の東京新聞社説『首相所信表明 信頼回復の覚悟見えぬ』を以下に転載させて頂く．「臨時国会がきのう召集され,岸田文雄首相が所信表明演説を行った＝写真．国民を分断した安倍晋三元首相の国葬,旧統一教会(世界平和統一家庭連合)と自民党との関係を巡って政治不信が高まる中，首相の言葉から信頼回復に向けた覚悟は読み取れなかった．首相は演説で「厳しい意見を聞く姿勢にこそ政治家岸田文雄の原点がある」と強調した．しかし国葬，旧統一教会への言及は物足りないと言うほかない．国葬については，国民の意見を「重く受け止め今後に生かす」と述べただけ．法的根拠を欠く国葬を独断で実施した経緯には触れず，賛否渦巻く中での追悼儀式になったことへの反省も見えない．政府は有識者の意見も聞き，国葬の検証を進めるというが，国民の代表で構成される国会での審議を優先し特に国葬に反対した野党の意見に耳を傾けるべきだ．旧統一教会との関係では「信頼回復のために各般の取り組みを進めていく」と，被害者救済の方針を示すにとどまった．自民党による調査後も山際大志郎経済再生担当相や木原誠二官房副長官ら政府の要職に新たな接点が判明した．2015年の教団名称変更に政治家の関与はなかったかなど政府が解明すべき問題もある．党任せにせず主体的に問題解決に取り組むべきだ．首相が演説で力点を置いた円安・物価高対策は具体策に乏しい．総合経済対策を月内に取りまとめる方針を示したが，食料品などの値上げが相次いでおり後手に回った印象は免れない．加えて，海外からの観光客受け入れ規制の解除を見据え「円安のメリットを最大限」引き出す政策の推進に触れた．物価高の主因の一つである円安を是認したと市場に受け取られかねず，物価高対策の決意を疑わざるを得ない．岸田政権はきょう発足1年を迎える．衆参両院の選挙で連勝したにもかかわらず,国葬や旧統一教会の問題に政治的体力を奪われたのが実情だろう．これまで欠けていた国民の声を誠実に聞くという「初心」に返らなければ国民の信頼は回復できまい．」 所信表明演説をテレビ視聴していたが何の魅力も感じられなかった．原稿をただ読み上げるだけの岸田首相がいけないのか，作文したに違いない官僚氏にやる気がないのか，恐らくその両方ではないだろうか．本当にやりたいことがあって，本気でやるつもりがあるので

あれば，もっと魅力的な語り口になるのではないか．研究者の学術講演でもこれよりは遥かにましで，語りのプロとしての政治家にしては物足りないの一語に尽きる．それとも政治家が能弁なのは選挙運動の時だけに限られるとでも言うのだろうか.

2022年10月4日　文責：瀬尾和大